

TOPICS

01 第12回定時株主総会の動画配信中

当社は、6月16日に開催した第12回定時株主総会の動画を6月21日～9月20日まで当社ホームページで配信しています。これは、株主総会当日にご来場いただけない株主さまをはじめ、より多くみなさまに、当社のこの1年間の取り組みを紹介することを目的として実施しているものです。この試みは昨年に引き続き2回目ですが、今年も多くの方にご視聴いただいています。みなさまもぜひご覧ください。

当社では、今後も株主・投資家のみなさまに、よりわかりやすい情報の提供に努めてまいります。

アクセス方法 当社ホームページ▶「投資家向け情報」▶「株主メモ」▶「株主総会」でご覧になれます。



02 「MajorFlow for.NET」「MajorFlow Keihi」の新バージョンを発売/「MajorFlow」シリーズ、ワークフローシステムのシェア調査で3位に躍進

パナソニック電工ネットソリューションズ株式会社（パナソニック電工NETS）は7月1日、「MajorFlow for.NET」、「MajorFlow Keihi」の新バージョンを発売しました。新バージョンで強化した機能により、国際会計基準（IFRS）へのコンバージェンスとして適用されるマネジメントアプローチでの「セグメント情報の開示」のサポートが可能になりました。

一方、「MajorFlow」シリーズは、株式会社富士キメラ総研が5月に発行した「2010パッケージソリューション・マーケティング便覧」におけるワークフローのシェア調査で、前年の圏外から3位に大きく躍進しました。多彩な連携機能などをお客さまに評価していただいた結果といえます。

パナソニック電工NETSは、今後もお客さまの効率化やコスト削減などの課題解決に貢献できるよう邁進してまいります。

Major Flow

03 イージェネラ株式会社主催「エグゼクティブ・ラウンド・テーブル」で講演

5月28日、軽井沢でイージェネラ株式会社主催による「エグゼクティブ・ラウンド・テーブル」が開催されました。当日は、クラウドコンピューティングに関するソリューションやユーザーによるイージェネラ社のPAN（Processing Area Network）ソリューション活用事例などが紹介されました。当社執行役員の田中啓介も「～真の仮想化でインフラ構造改革を実現～プライベートクラウド構築と展開に向けてのポイント」と題し、講演を行いました。

仮想化やクラウドコンピューティングには、引き続き熱い視線が注がれています。当社は自らのユーザーとしての経験とノウハウをさらに磨き上げ、お客さまの「お役立ち」につながるご提案を積極的に行ってまいります。



あいえす☆人物伝 その7 田頭 雅行



「東京は温かい人が多くて『冷たい』というイメージが吹っ飛びました」と語るのはソリューション営業部の田頭雅行。2009年7月に大阪から東京へ異動。現在、大手証券会社さまの担当として活躍中です。異動当初は、なじみのない土地で、お客さまと一から信頼関係を築き上げることの難しさ、厳しさを感じたといいます。お客さまのもとに足しげく通い、徐々にコミュニケーションも円滑に。気をつけたことは「知識を広げること」と「正直であること」。「ご提案する商材の話だけでは会話になりません。当初はあらゆるドキュメントを読み漁って知識を詰め込みました」と語ります。さらに「ソリューション提案のプロセスでは、お客さまにも業務改善の検討などをお願いすることがあります。そういったことは、はっきりとお伝えするようにしています」と、「正直」に込められた意味を教えてくださいました。「きちんと伝える」ため、さまざまなことにトライしている彼、今後の課題は？「実は…単身赴任中なのですが、家族と一緒にいるときはアクティブだったのに、今は引きこもっているんです。土日の過ごし方、これが一番の課題ですね（苦笑）」

編集後記

今号では、新しいオフィスでのさまざまなチャレンジをクローズアップしました。せっかくのシステムも使いこなせなければ宝の持ち腐れ。そんなことにならないように、徹底的に使いこなしたソリューションを“すぐ”にお客さまにお届けする。そんな決意を胸に、社員一丸となった取り組みがスタートしています。このニュースレターでも、みなさまに新鮮で耳寄りな情報を“すぐ”にお届けできるよう、頑張っています。ご意見・ご感想お待ちしております。

発行元

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社
総務部 広報・IRグループ

〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー16F
TEL 06-6377-0100 FAX 06-6377-0833 <http://panasonic-denkois.co.jp/>

※本紙掲載記事の無断転載・複製を禁じます。
※本紙に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。



IS クローズアップ

Move to Delight

2010.7
Vol.14

パナソニック電工インフォメーションシステムズ

Top MESSAGE

お客さまの“すぐに”を実現するために。

「お客さまへのお役立ちを倍増したい。

—そして、お客さまも倍にしたい」

6月に東京・八重洲から移転し、名称も「東京オフィス」と改めた新オフィスには、このことを“すぐに”実現したいという強い思いをこめました。たかが事務所の移転なのに仰々しい、とおっしゃる向きもあるかと思いますが、しかし、この移転は、2012年経営ビジョン「Move to Delight-お客さまの“満足”を超え、感動をめざして-」を体現するにあたり、非常に重要な意味があります。それは、このオフィスから「お客さまの“すぐに”を実現する」ということです。

「拙速」という言葉があります。その反対語である「巧速」という言葉と共に語られます。「巧」の限りを尽くして時間をかけて作った提案が大切なことは十分理解していますが、「時間」は、ビジネスにおいて最も重要、かつ最もコントロールが難しい経営資源であり、日に日にその比重は高まっていると言えます。そんな今、多少荒削りであっても“すぐに”お客さまにお届けできた提案の方がお客さまに大きなご満足を頂戴できることが多くあります。ともすれば、「私たちにできる最大を」と考えるあまり、あるいは「ライバルに負けないものを」と気負いすぎるあまり、巧速化しがちなお客さまへのご提案活動。自分たち、あるいはライバルを考えるより、まずお客さまを考えれば、時間の基準は全く違ったものになります。

新オフィスへの移転に際し、私たちは提案活動改善に向けた工夫を随所に凝らしました。最も注力した点は「使いこなし」という私たちの強さをさらに磨き上げることです。

新しいITであればあるほど魅力的でパワフルです。それを稼働開始から“すぐに”100%ご活用いただくために、とことん「使いこなし」たソリューションをご提供していかなくてはなりません。

その一例として、私たちは、東京オフィスに7種類9セットものビデオ会議システムを導入しました。もちろんショールーム的な意味合いもあります。しかし、7種類も機材があるということは、利用シーンに応じた最適な使い方は、それ以上の数になるはずで、それをまず私たち自らが、誰よりも先に立ってとことん「使いこなし」ていく。その理由は私たちのソリューションをお求めいただいたその時から“すぐに”お客さまの「お役立ち」につながり、Delightしていただくためなのです。

このように、お客さまの“満足”を超えた感動へ、私たちは新しい試みを次々にスタートさせています。

今後の展開にどうぞご期待ください。



パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社
代表取締役社長 前川 一博
Kazuhiro Maegawa

Close Up Now

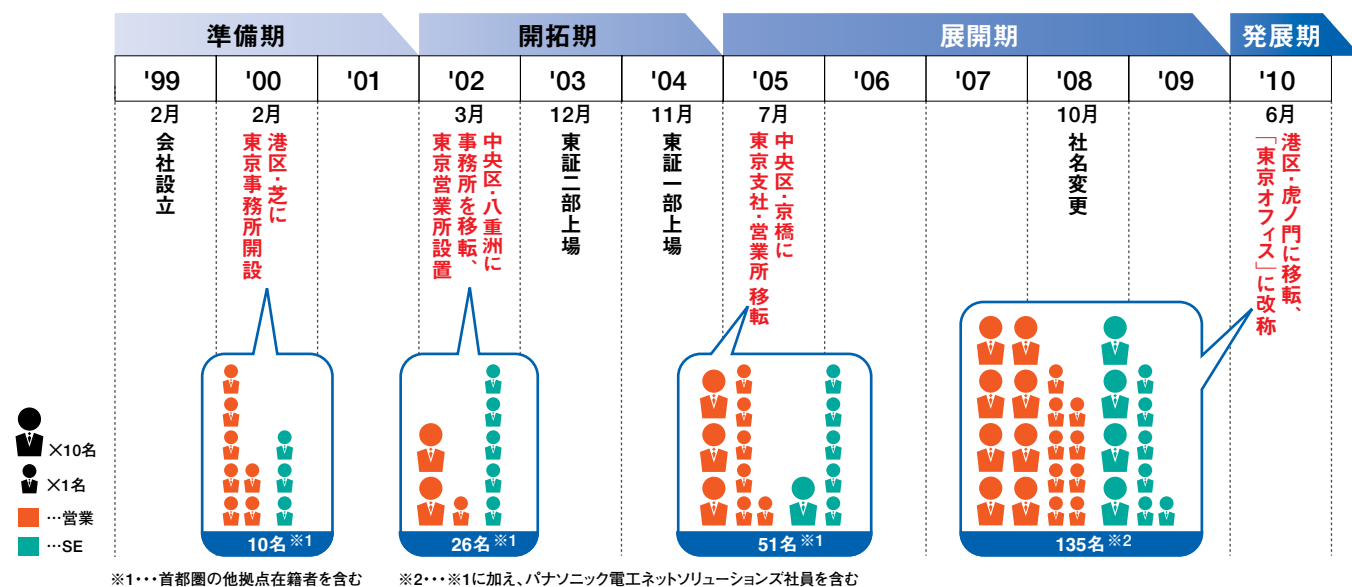
“すぐに!”を実現! 「新・東京オフィス」—新たな試み。

当社の首都圏拠点は、6月21日、東京都中央区から東京都港区に移転し、「東京オフィス」として新たなスタートを切りました。「オフィスそのものがショールームでありノウハウ蓄積の場」と考え、お客さまに、より一層ご満足いただけるソリューションの展開を図ります。今回は東京オフィスでスタートする新たな試みをご紹介します。



～東京でのあゆみ～

小さなオフィスからスタートし10年、3度の移転を経て、今や当時の10倍を超える規模にまで成長しました。



お客さまの、“すぐに!”を実現する「とことん役立ち活動」を展開します!

<p>すぐにこの場で 問題解決 します</p> <p>SOLUTION</p> <p>↓</p> <p>営業とSEの 大幅増員</p>	<p>すぐにお手元に 現場力 をお届けします</p> <p>KNOW-HOW</p> <p>↓</p> <p>拠点間距離 ゼロオフィス</p>	<p>すぐに対応する 保守 いつも安心です</p> <p>SUPPORT</p> <p>↓</p> <p>保守力/ サポート力強化</p>
---	---	---

首都圏での売上は今や当社の売上高の6割以上を占めるまでになり、ここ数年は、前年比20%以上の伸長を続けています。大手のお客さまも増え、お付き合いも年々深まっているという実感を強めています。

営業本部としての今年度の方針は「**役立ち活動で、とことんご支援**」。お客さまに当社の強みである「現場力」を発揮し、お役立ちを“すぐに”お届けできるよう、これからも積極的な取り組みを進めていきます。



執行役員営業本部長
大西 元



新しい技術・アイデアを活用したIT実証オフィスにトライ!

TRY! ビデオ会議の徹底使いこなしによるノウハウ充実にトライ! ～ハイビジョンによる臨場感がビデオ会議の限界を超える～

自らがビデオ会議のユーザーとして得た豊富な経験を基に提案しているタンバークのビデオ会議システムをすべての会議室に導入。徹底した使いこなしによって、お客さまにも“すぐに”フル活用していただけるよう、ノウハウのさらなる充実にトライします!

120インチプロジェクタ型	×2
52インチ一体型	×1
22インチ卓上型	×2
7インチ電話型	×1
65インチ2枚使い型	×1
65インチ分離型	×1
42インチ分離型	×1



TRY! 新技術にトライ! ～新しい「お役立ち」の種をまき、芽吹かせ、大きく育てる～

今後注目度大!の新しいテクノロジーを“すぐに”お届けできるよう、自らのオフィスで検証していきます!

<p>新セキュリティにTRY!</p> <p>確実な本人認証・完全非接触・高速認証</p> <p>ノンストレス手のひら静脈認証</p>	<p>高速ワイヤレスにTRY!</p> <p>これまでの無線LANの常識を覆す、安全性とスピード</p> <p>高速・耐ノイズ無線LAN</p>	<p>画像新テクにTRY!</p> <p>距離に応じて変わる画像が導く新しい可能性</p> <p>高精度距離画像センサ</p>	<p>新教育システムにTRY!</p> <p>学校と学生をスマートフォンという新しい絆が結ぶ</p> <p>スマートフォン向けコンテンツ作成ソリューション</p>
--	---	--	--

ミニコラム

急なプロジェクトにも迅速・柔軟に対応できる秘密とは?

首都圏におけるビジネススピードをこれまで以上に高めるため、これまで大阪でのみ行っていたシステム開発を東京でも行います。これもお客さまの“すぐに”を実現し、Face to Faceのコミュニケーションの機会を増やすための取り組みのひとつ。さらに、プロジェクトの数による人員の増減に効率的かつ柔軟に対応するため、今回取り入れたのがフリーアドレスとパーソナルロッカー。大掛かりな席替えなどを行わなくとも、プロジェクトスペースを柔軟に変更することが可能になりました。



パーソナルロッカー

東京オフィスはこちら

〒105-6022 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー22F
TEL: 03-4335-9540
東京メトロ日比谷線「神谷町駅」徒歩3分 東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」徒歩5分

